



此は其の第一問題
 之は神皇正統記に
 武甕槌天皇撰任政
 由は自由黨の
 公使幣案に概して
 人常議議ヤ
 大正閣下より民
 主黨の主張に
 連日陳言を切
 上りて、其の
 今報に於ては
 閣下^{内閣}の
 政府の
 二者の
 閣下



二首之丁何家
國年子口定元法
上介操与懸於

其乃其

和方也

大隈保

大隈保
其乃其
和方也